

一般国道159号(浅野川大橋～東山～山の上区間)

自転車の路肩走行指導強化について (バスレーンの左側走行)



北陸地方整備局
金沢 河川 国道 事務所

背景

交通環境の改善と安全・
安心な道路空間の創出
に向けた対策が必要！

小学生・PTAの声

▼実情

歩道が狭い上に歩行者・自転車が
多い。特に、朝の通勤時間帯は高
校生や通勤の自転車が多く、歩行
中の小学生がぶつかりそうになる。

▼「道の点検簿」の地元要望

- ★歩道拡幅、無電柱化
- ★バスレーン上への自転車通行帯
の設置



現状の問題点 → 自転車通行

自転車走行のほとんどがルール違反

→ 「車道の左側通行」「並進禁止」等の法規制はほとんど守られていない！



現状の問題点→現地ビデオ

自転車走行の実態をご覧ください

撮影日

◆11/10(金)、朝8時頃の様子

約2分間 ビデオをご覧ください
起動まで少々お待ち下さい



問題点の整理

歩行者

- ◆安心して歩道を歩けない
(歩道上で自転車をよけなければいけない)
- ◆特に、小学生や高齢者にとって危険

自転車

- ◆無秩序(道交法のルールが守られていない)
- ◆走行位置が不明確
- ◆歩道上で歩行者との衝突の危険あり
- ◆路地から出てくるクルマとの衝突の危険あり

クルマ ・バス

- ◆車道を逆走する自転車との衝突の危険あり
- ◆自転車が歩道から突然車道に降りてくる場合があり危険



問題点の整理

課題

- ◆自転車と歩行者の分離が必要
- ◆自転車走行ルールの徹底が必要
- ◆一方、新たに「自転車専用通行帯」を設置することは困難



人・自転車・クルマそれぞれにとって
「安全で安心して通行できる道路空間
創出」に向けた交通安全対策が必要！